

来週の『売り物記事』はこれ



2017年5月26日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

古浄瑠璃本によって結ばれた男たちの縁

28日(日)



ロンドンの大英図書館に世界で1冊だけ残る古浄瑠璃本「弘智法印御伝記(こうちほんいんごでんき)」が6月、現地で初めて上演されます。御伝記は、新潟県長岡市に眠る即身仏(厳しい修行の末に瞑想状態のまま亡くなりミイラ化した僧侶)の「弘智法印」をモデルにした人形浄瑠璃の台本です。55年前に御伝記が発見されてから今回のロンドン「里帰り公演」実現まで、運命的な縁で結びついたドナルド・キーン米コロンビア大名誉教授(94)ら4人の男たちの姿を描きます。

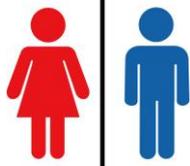


筆者は統合デジタル取材センターの中澤雄大記者です。

外国人観光客も注目 「行列解消」が課題

トイレ「快適化」最前線

夕刊特集ワイド 29日(月)



2020年東京五輪・パラリンピックに向けたインフラ整備に併せ「トイレ改革」が進んでいます。「日本のトイレはきれい世界一」という声がありますが、順番待ちの長い行列にイライラすることも。五輪で使われる競技場の現状や、トイレの数を増やす改修計画を調べるとともに、行列のストレス解消につながる工夫を識者に尋ねました。「究極のプライベート空間」とも言われるトイレは、どう変わっていくのでしょうか。

ロシア疑惑「大炎上」で現実味

トランプ大統領の「ニクソン化」

夕刊特集ワイド 30日(火)

アメリカを揺るがすロシア疑惑が、新たな局面に入りました。ロシア政府による米大統領選介入疑惑などを捜査する特別検察官に「切れ者」のモラー元連邦捜査局(FBI)長官が任命されたのです。トランプ大統領や側近らの疑惑が追及される構図は、ニクソン大統領(当時)が辞任に追い込まれた「ウォーターゲート事件」と重なります。歴史は繰り返すのか――。二つのスキャンダルの類似点や、今後の見通しなどを探ります。



数独 子どもからお年寄りまで広がる愛好者

特集面「数独」 29日(月)

4	8		1				2
1		2		7			
	6	4				8	
	7	3		9			
2			6				1
		7			6	9	
	1			5	8		
	4				8		6
9		2				4	7

本紙朝刊の「朝から数独」が好評です。読者の皆さんからは「朝刊を読む楽しみが増えた」などの声が寄せられています。新年度から初めてチャレンジする読者も多く、愛好の輪が広がっています。解決の糸口は必ずあり、それを見つけるのが数独の面白さの一つです。解き方のコツやヒントを解説するとともに、問題づくりの秘密などをニコリの担当者に聞きました。

卓球世界選手権

日本勢、メダルラッシュなるか

スポーツ面 29日(月)～6月5日(月)

卓球の世界選手権個人戦が29日にドイツ・デュッセルドルフで開幕します。注目は4月のアジア選手権女子シングルスで日本勢21年ぶりの優勝を果たした17歳の平野美宇。石川佳純もシングルス、ダブルス、混合ダブルスと3種目でメダル獲得を目指します。男子のエース・水谷隼はシングルスでの初メダルを狙い、史上最年少の13歳で日本代表に選ばれた張本智和にも期待がかかります。熱い戦いを現地からレポートします。



輪の中へ

くらしナビA面 31日(水)

医療的な介助が必要な「医療的ケア児」が適切な支援を受けられるよう、児童福祉法が改正されて1年がたちました。自治体は合理的配慮を求められますが、対策が進まず、保育所に入れない医ケア児もいるのが現状です。この1年で自治体はどう変わり、社会から孤立しがちな家族はどのように暮らしているのでしょうか。3回にわたって報告します。



梅雨時期のヘアケア

くらしナビA面 30日(火)



梅雨の季節、きちんとセットしたはずの髪の毛が広がったりうねったりして悩んだことはありませんか。原因は空気中の水分や地肌の汗によって髪が水分を取り込み、形が変わりやすくなるためです。湿度が高くても髪をきれいにまとめるにはどのような手入れをすればよいのでしょうか。専門家を取材して、梅雨をおしゃれに乗り切る方法を聞きました。

私の胸のうち

おんなのしんぶん 29日(月)

今回のテーマは「子の心、親知らず」。長年親に言えないで抱えていた思いや、大人になって解けた勘違いなど、さまざまな投稿が寄せられました。ある和菓子職人は「跡取り息子」として実家の老舗和菓子店を継ぎましたが、実は洋菓子が大好き。けれどもそのことを両親には内緒にしています。果たして、彼の秘めたる計画とは何なんだったのでしょうか。

